

巡
異世代交流の拠点となる
健康温泉施設を検討します

今こそ、 市政の流れを 変えるとき



私も応援
しています!



いとう眼科(守谷駅前)
大原 瞳子 院長

シニアの方々が健康に暮らせるまち

マニフェスト第12弾

+
特集号 2弾 合計14弾発行致しました。

01 未病を継続するための各種検診事業の強化

守谷市では特定健康診査対象者に対し、年3回程度の勧奨通知を送付することで受診率の向上を図っていますが、受診率そのものは停滞傾向にあります。未病の段階にある時は、健康な状態から病気の状態へと少しづつ体調が変化していき、体からのSOSに気づかないことが多いため、各種検診事業を強化することで、自覚症状のない未病を発見していきます。

02 生活習慣病重症化の予防促進

健康診査やレセプトデータを使って、高リスクを抱える方を抽出して、個別のアプローチを進めます。電話や訪問、ハガキなどさまざまな方法で高リスクを抱える方にアプローチし、受診を促していきます。地域医師会や自治体との連携により、地域全体での健康増進活動を活発化します。

03 介護サービスの低所得者への支援の拡大

介護サービス利用における自己負担が低所得者層にとって負担になっています。金銭面の支援を含めた幅広い支援を行います。

04 高齢者の介護予防などのフレイル対策の強化

フレイルとは「健康な状態と要介護状態の中間の段階のこと」を指し、筋肉が衰えたり運動機能の低下から移動がしにくくなる状態を指します。高齢者が元気で自立した生活をするために、介護予防、フレイル予防活動に積極的に取り組んでいきます。

完全無所属
元 常陽銀行
支店長代理

かじおか 香織
かおり

発行:守谷市に女性市長を誕生させる会

討議資料



Profile

- 昭和57年1月3日生まれ
- 両親ともに公務員の家庭で育つ
- ひかり幼稚園(守谷市本町)卒業
- 取手市立永山小・中学校卒業
- 茨城県立土浦第一高等学校卒業
- 東京女子大学 文理学部 英米文学科卒業

- 元常陽銀行守谷支店 支店長代理
営業成績を評価され、13期連続で頭取賞を受賞し、最短で支店長代理を拝命
- 2022年に第一子が誕生し、子育て奮闘中
- 前守谷市議会議員



今こそ、市政の流れを変えるとき

シニアの方々も安心して移動できるまち

01 モコバス70歳以上無料など高齢者の足の確保の推進

運転免許証を返納した高齢者にとって、公共交通機関は日常生活を送るために必要な移動手段のため、モコバスを70歳以上無料にするなど高齢者の移動手段の確保を推進します。

02 使いやすいタクシーサービスの実施

守谷市では65歳以上の市民が利用可能なデマンドタクシーを導入していますが、市民アンケートでは「乗りたい時間に予約が取れない」、「運行台数が少ない」などの不満があります。デマンドタクシーの運転手の確保をすることでタクシー業界の支援、そして、65歳以上市民を対象としたタクシーチケットの配布を検討します。

シニアの方々が元気で活躍できるまち

01 多世代へのさまざまな生涯学習の機会の提供

多世代の方が学びの機会を持てるように、地域の特色や資源を活かした学習プログラムを開発します。住民が中心となって地域資源を活用し、地域のコミュニティとの連携を強化することで、生涯学習を通じた地域活性化を図っていきます。

02 市内にある様々な資源を活用したシニアの活動場所・機会の拡充

まちづくりという観点で、守谷市が実施しているさまざまなクラブ活動、サロン活動、シルバーリハビリ体操などのシニア向けの活動ができる場所や機会の充実をはかります。

女性市長に女性市長誕生させる会

〒302-0109 茨城県守谷市本町 257-5
TEL : 0297-38-5593 FAX : 050-3145-2882

詳しい政策は
こちらから



QRコードから各種SNS
にアクセスできます。

